

Rotary



RI会長 ジョン・ジャーム
第2590地区ガバナー 高良 明
No.2133 MAY.16 2017



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【会長テーマ】：会員増強とロータリーを学び、我が奉仕

会長 富岡 昭一 副会長 内藤 幸彦 幹事 渡邊 新治 S A A 長戸 隆彦 会報委員長 叶野 聡	2016~2017 第2153回例会 平成29年5月16日	例会日 毎週火曜日 12時30分点鐘 例会場 川崎市中原区小杉町3-10 ホテル精養軒 TEL(044)711-8855 事務所 川崎市中原区小杉町3-428 山協ビル402号 TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334 E-mail : k-naka@galaxy.ocn.ne.jp URL: http://www.kawanaka-rc.com
--	---	---

例会報告

開会点鐘	富岡 昭一 会長
司会	長戸 隆彦 SAA
合唱	「我らの生業」
お客様紹介	森田 淳親睦活動委員

ゲストスピーカー 山寺 雄太様	第2590地区2016-17年度 青少年奉仕委員会 R青少年交換委員長(川崎西RC)
--------------------	--

今後のプログラム予定

5・6月	プログラム名
第4例会 5月30日	卓話 一般財団法人 しんきん成年後見サポート事務 局長 平森 均様 しんきん成年後見サポート家族 信託担当 橋本 健一様
第1例会 6月6日	会員お祝い 情報集会報告① 米山奨学金授与式 ｼﾝｼﾞｮﾝ・ｼﾞｮｰﾀﾞﾝ・ﾓﾝｶｰさん (カナダ) 現・次合同 理事・役員会

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率		
45名	38名	7名 対象外 (6)	97.44%	欠8名 対象外 (5)	MU3名	92.50%

【本日の欠席者】

三木 治一会員 市川 宏 会員 松田 敏治会員
 小林 敏伸会員 萩原ひとみ会員 高木 洋一会員
 朝山 秀男会員

ニコニココーナー

志村 修司副 SAA

山寺 雄太 様：本日は貴重な機会を与えて下さりありがとうございます。よろしくお願いたします。

富岡 昭一 会長：第2590地区青少年交換委員長山寺様
本日は“青少年奉仕月間に因んで”の卓話よろしくお願いたします。

渡邊 新治 幹事：山寺様卓話よろしくお願いたします。
本日もよろしくお願申し上げます。

細山勝三郎 会員：地区青少年ロータリー委員山寺様卓話ご苦労様です。よろしくお願致します。

伊藤 文治 会員：山寺地区青少年委員長様ご多忙の中、

卓話頂きありがとうございます。

川口 禮敬会員：①地区山寺様卓話ありがとうございます。②楽しみに拝聴させていただきます。③創立 45 周年実行小委員会を本日例会後開催します。関係各位の出席をお願いいたします。

小丸日出夫会員：地区青少年委員長山寺様、本日はクラブにお出で頂き誠にありがとうございます。今日の卓話のテーマにはとても興味があり詳しくお話を聞けるのが楽しみです。

内藤 幸彦会員：R 青少年交換委員会山寺雄太委員長様、ご多忙の折卓話ありがとうございます。若い学生さんたちのお世話で骨の折れる任務真にご苦労様です。卓話楽しみです。

小島 徹 会員：R 青少年交換委員長山寺様卓話よろしくをお願いします。

廣山 宗一会員：ガバナー月信 11 号、P 12 富岡会長の抱負が載っております。お読みください。

中山 武夫会員：青少年委員長山寺様、卓話ご苦労様です。

堀一 慶明会員：先日は大牟田会員には大変お世話になりました。ありがとうございました。

長谷山尚城会員：地区青少年委員長山寺様、本日は卓話ありがとうございます。

長戸 隆彦会員：山寺様、卓話よろしくをお願いします。

志村 修司会員：青少年交換委員長山寺雄太様、お忙しい中ようこそ。卓話楽しみです。また息子が平素大変お世話になっております。今後ともよろしく願い申し上げます。

合計	15件	17,000円
累計	646件	731,000円

会長報告

富岡 昭一会長

1.地区より「2015-16 年度年次報告」が届いております。閲覧いたします。

2.日本ロータリー学友会より R 財団 100 周年記念シンポジウムビデオ (DVD) が届いております。視聴を希望される方は事務局まで申し出ください。

幹事報告

渡邊 新治幹事

1.例会変更

川崎中央 5月29日(月)一泊移動例会を通常例会に変更

6月4日(日)～5日(月)通常例会を一泊移動例会に変更

御殿場高原 時之栖(ときのすみか)

2.次週 5/21(日)～22日(月)は一泊移動例会です。

(箱根湯本 河鹿荘)

3.再来週 5/23(火)は一泊移動例会の振替のため、例会はございません。

4.今後の予定

・5/20(土) 川崎中原 RC 創立 30 周年記念式典

・6/4(日) 多摩川美化活動 AM9:00～

・6/6(火) 例会終了後、現・次合同理事会

・6/20(火) 夜間例会 精養軒 17:30 点鐘

～本日の卓話～

ロータリー青少年交換委員長

山寺 雄太様 (川崎西 RC)

演題：「青少年奉仕月間に因んで」

委員会報告

5月13日（土）に行われた献血活動についての報告が富岡会長からありました。

出席は

小泉会員、内藤会員、細山会員、松井会員、川口会員
高木会員、宇田会員、伊藤文治会員 長谷山会員
伊藤稔会員、富岡会長、小丸会員、中山会員
萩原社会奉仕委員長

報告

大雨で寒風の中駅前立ち、声を枯らして献血を呼びかけました。時間ぎりぎりまでテントの中に温かい気持ちで入っていただきました。

男性17歳以上、女性18歳以上、体重50kg以上の規定に達せず断念された方々もいましたが、雨の中呼びかけに応じてくださった皆様にご協力いただきました。

多くの方が行き交う武蔵小杉駅前ロータリークラブの表に出る社会奉仕活動として地域にアピールもできました。

とどろきロータリークラブの皆さんと一緒に取り組めたこともうれしいことでした。（萩原社会奉仕委員長）



写真説明

写真に写っている男の子は橘学苑青山君、3回も来てくれましたが、15歳で規定年齢に満たず断念、お姉様がロータリーの奨学生で海外へ1年行き大変お世話になりました、と話してくれました。うれしい交流でした。

卓話



＜長谷山尚樹青少年奉仕委員長のご紹介があり、ロータリー青少年交換委員長の山寺雄太さまによる卓話が行われました。＞

略歴書

名前 前：山寺 雄太 (ヤマデラ ユウタ)
 生年月日：
 事業所：山寺行政書士事務所

武蔵中原駅前に貴クラブ会員の志村様の息子さんである不動産鑑定士の純一さんと同じ場所で事務所を構えております。

所属クラブ：川崎西RC

ロータリー入会：平成23年11月

青少年交換委員：平成25年7月～

青少年交換委員長：平成28年7月～



2016-17年度 国際ロータリー第2590地区

ロータリー青少年交換プログラム (Rotary Youth Exchange)

国際ロータリー第2590地区
 ロータリー青少年交換委員会
 委員長 山寺 雄太



「国際理解と平和」の為に国際理解と親善を推進する人物を育てる

ロータリークラブの『小さな親善大使』として、
 他国の風俗・習慣・文化を学び、又多くの友人を作り、
 国際理解と親善を推進する人物を育てる

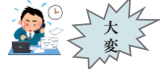


ロータリー青少年交換とは



元々は **クラブ** 対 **クラブ** 1対1の青少年交換

- 書類の作成 ○ 交換相手クラブとの連絡
- 派遣生の募集選考 ○ 研修プログラム



地区委員会を組織

- 事務手続きを行う ○ 相手国委員会との連絡
- 研修プログラムを計画・事務 ○ ノウハウの蓄積

選考 → 派遣候補生 → 派遣生 → ROTEX

ホストクラブ・スポンサークラブは
 青少年の育成に専念！！

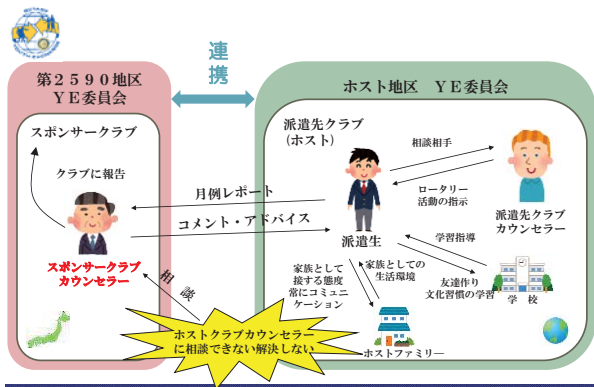
地区委員会の役割



ガバナー事務局より
 各学校へポスター配付

9月	募集期間	ロータリークラブに応募 ↓ クラブ面接 (保護者同伴) ・会長、幹事、青少年奉仕委員長、その他役員 ↓ 地区に推薦
11月	選考期間	① 筆記試験 小論文 ② 面接試験 (保護者同伴) ※ガバナー出席 (面接官) ①、②の総合判定で合格者と派遣予定国を決定 → ガバナー承認
12月	派遣候補生	第一回オリエンテーション、研修
18月	派遣生 (親善大使)	毎月オリエンテーション、研修 (スキー合宿、広島・京都旅行、富士山ハイキングなど) 8月出発

ロータリー青少年交換学生の募集から出発まで



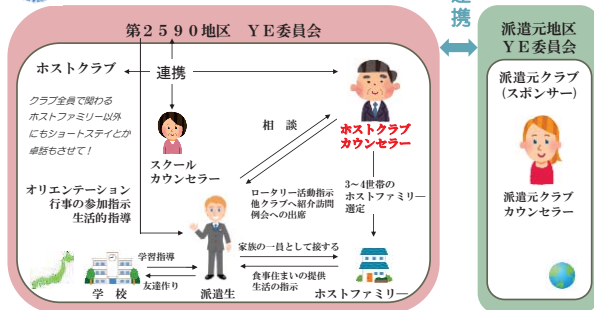
スポンサークラブの役割



- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 地区行事 | : オリエンテーション (月1回)
研修旅行
(スキーキャンプ/京都・広島/富士登山等) |
| 2 | クラブ行事 | : 例会 (月1回)
クラブの奉仕活動に参加 |
| 3 | 学校 | : 授業、勉強
学校のクラブ活動 |
| 4 | プライベート | : . . . |

学校、プライベートよりもクラブや地区の行事、ロータリー活動が優先

ロータリー青少年交換派遣学生の活動優先順位



ホストクラブの役割



本プログラムに関しまして、皆様より頂くご意見として多いものは、

1. 委員会で提示している金額以上の金銭的負担が生じてしまう。
2. クラブの人数減少・高齢化が進み、HFの確保が難しくなっている。

主に上記の2点になります。

本プログラムの課題

1. 本プログラムは、ロータリアン同士の子弟の交換が元になっています。ロータリアンがお互いの子弟を預け合い、互いが自分の子供と同じように育て上げるという事が原点です。何も特別なことをして頂く必要はありません。我が子と同じように扱ってください。
2. ホストクラブの負担すべき費用
 - ①お小遣い(月額1万円)
 - ②通学費用
 - ③学校の制服・教材費等
 - ④ロータリー関係参加費
 - ⑤ホストファミリー補助金(月額5万)
 ※遊興費や個人的な趣味に掛かる費用、洋服代などの1万円を超える分につきましては、本人負担が原則です。クラブで負担する必要はありません。
3. ホストファミリー補助金はあくまでも謝礼であって実費を補償するものではありません。これはロータリーにおける行為は、自らなる意志に基づく奉仕を原則とする事、即ち「ボランティアでホストを務める」という所からきています。

金銭的負担についての考え方

1. 本プログラムは、クラブとクラブの交換が原則であります。ですが、派遣したクラブがHCになっていないことのほうが多いのが現状です。
2. 本来であれば派遣したクラブがHCを引き受ければ良いこととなりますが、それでは、毎年同じような幾つかのクラブだけがこのプログラムに参加することになります。
3. そこで、あくまでもHCは従来通りの方法で各グループごとに決定して頂き、HFの確保の部分だけを、派遣したクラブにも約半年間お願い頂く事になりました。具体的には、2月～帰国までの期間について、派遣したクラブがHFの手配の義務を負います。
4. 派遣したクラブが負担するのはあくまでもHFの手配のみであり、HCはあくまでも従来通り各グループで決めたクラブになります。ですので、費用等の負担につきましては、1年間を通して、従来通りのHCの負担となります。但し、SCが外部のHFを頼むことにより、HF補助金の5万円を超えることとなった場合には、5万円を超える部分につきましては、SCの負担となります。

H F の確保

本プログラムが、皆様へ多大なご負担をお掛けするものであることは重々理解しているつもりです。それでもなお、このプログラムは行う価値のあるものだと考えております。このプログラムを終えて日本に帰国した学生に1年ぶりに会うと、その変わり様が大変驚かされます。他の留学制度とは違い、「学生をお客様として受け入れるのではなく、家族として受け入れて育て上げる。」というこのプログラムの賜物だと思います。

地区のシステムが変わり、学生を推薦した以上は半年間のHFを確保する事が必要になりました。ですが、それで推薦を控えるのではなく、優秀な学生がいましたら、ぜひクラブとしてご推薦頂ければと思います。

未来ある若者を我々の手で育て上げるこのプログラムに、是非ともより一層のご理解・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

皆様へのお願い